

2021年度 事業報告書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

目 次

P1～P4	法人の概要
P5	事業の概要
P6～P7	湊川短期大学事業報告
P8～P9	三田松聖高等学校事業報告
P10	湊川短期大学附属西舞子幼稚園事業報告
P11	湊川短期大学附属神陵台幼稚園事業報告
P12	湊川短期大学附属北摂第一幼稚園事業報告
P13	湊川短期大学附属北摂中央幼稚園事業報告
P14	湊川短期大学附属北摂学園幼稚園事業報告
P15	湊川短期大学附属キッズポート保育園事業報告
P16	湊川短期大学附属ぽるとこども園事業報告
P17	財務の概要
P18	2021年度財務報告
P19～P20	過去5ヵ年の財務推移表

学校法人 湊川相野学園

学校法人湊川相野学園 2021年度 事業報告書
(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

1 法人の概要

1 建学の精神

本学の教育は、校祖幸田たま女史の何事にもくじけぬ不屈の精神と、誠を持って貫き通す強い意志の力とを基本とする。

平和を尊び、高い徳性と健全な心身を備え、新時代に即応できる知性や技術を身につけた、有為な社会人を育成する。

2 学園教育目標

・ 創意創造の精神

日々新たにまた日に新たなりの意欲のもと、科学心を啓培し

・ 誠実不壊の信念

和敬協調、自律自修の信念をもって、挙措清楚に意志凜然と

・ 全人的人格形成

高邁なる英知、豊かな情操を涵養して、心身を錬磨し、清く正しく強い、時代に適応できる有為な社会人を育成したい。

3 設置する短期大学・高等学校・幼稚園・保育園の名称及び所在地

(1) 湊川短期大学

(人間生活学科・専攻科健康教育専攻・幼児教育保育学科・専攻科生活福祉専攻)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(2) 三田松聖高等学校(普通科・特進コース・総合コース)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(3) 湊川短期大学附属西舞子幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒655-0043 兵庫県神戸市垂水区南多聞台5丁目8-1

(4) 湊川短期大学附属神陵台幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒655-0041 兵庫県神戸市垂水区神陵台5丁目8-6

(5) 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成23年4月1日認可

〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘4丁目10番

(6) 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

(7) 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒669-1337 兵庫県三田市学園7丁目1-3

(8) 湊川短期大学附属キッズポート保育園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

(9) 湊川短期大学附属ぼるとこども園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目3番1号2階

4 役員・評議員の概要

【役員】定数 9人以上11人以内

監事 2人

理事長(常) 浅井 祐子 H.19.4.1

監 事(非) 下山隆一郎 H.13.4.1 税理士

常務理事(常) 金澤 敦夫 R. 3.4.1 法人事務局長

監 事(非) 木 寅 文 雄 H.25.4.1

常任理事(常) 末 本 誠 H.28.4.1 短期大学長

(2名)

常任理事(常) 川崎 宏 紀 R. 2.4.1 高等学校長

常任理事(常) 原口富美子 H.24.4.1 附属幼稚園長

理 事(常) 大 前 衛 H.18.4.1 短期大学職員

理 事(常) 山野上素充 H.25.4.1 短期大学職員

理 事(非) 小室 烈 生 H.14.4.1

理 事(非) 堀 忍 H.17.4.1

理 事(非) 仁 木 照治 H.31.4.1 外部理事

理 事(非) 今 西 康 之 R. 3.4.1 外部理事

(11名)

【評議員】定数 19人以上25人以内

評 議 員 浅井 祐子 H.15.4.1 理事長

評 議 員 馬 把 正 俊 R. 3.4.1 短期大学事務局長

評 議 員 金澤 敦夫 H.25.4.1 法人事務局長

評 議 員 芝 本 美 重 R. 3.4.1 高等学校事務長

評 議 員 末 本 誠 H.28.4.1 短期大学長

評 議 員 澤 井 優 男 R. 2.4.1 高等学校副校長

評 議 員 川崎 宏 紀 H.27.4.1 高等学校長

評 議 員 穂 積 幸 美 R. 3.4.1

評 議 員 紺屋 美 紀 R. 3.4.1 附属幼稚園長

評 議 員 川谷しおり R. 3.4.1

評 議 員 川嶋富美子 R. 3.4.1 附属幼稚園長

評 議 員 齊 藤 篤 史 R. 3.4.1

評 議 員 大前 通 代 H.26.4.1 附属幼稚園長

評 議 員 大 前 衛 H. 1.4.1 短期大学職員

評 議 員 原口富美子 H.14.4.1 附属幼稚園長

評 議 員 山野上素充 H.25.4.1 短期大学職員

評 議 員 中 井 重 樹 H.26.4.1 附属幼稚園長

評 議 員 大 西 則 夫 H.17.4.1 高等学校職員

評 議 員 馬 越 美 佳 H.27.4.1 附属保育園長

評 議 員 中 田 初 美 H.29.4.1

評 議 員 萩 原 文 R. 2.4.1 附属保育園長

評 議 員 小 室 烈 生 H.14.4.1

評 議 員 福 井 智 美 R. 3.4.1 法人総務部長

評 議 員 芝 野 照 久 R. 3.4.1

(24名)

【責任限定契約】

私立学校法に従い責任限定契約を締結した。

(1) 対象役員氏名

(非業務執行理事) 小室烈生 堀忍 仁木照治 今西康之
(監 事) 下山隆一郎 木寅文雄

(2) 契約内容の概要

非業務執行理事等として、善意かつ重大な過失がなく、その任務を怠ったことにより本学園に損害を与えた場合は、金50万円と非業務執行理事等がその在職中に学校法人から職務執行の対価として受け、又は受けるべき財産上の利益の1年間当たりの額に相当する額として私立学校法施行規則第3条の3に定める方法により算定される額に2を乗じて得た額との、いずれか高い額を責任限度額として学園に対し損害賠償責任を負うものとする。

(3) 締結日

2020年3月27日 及び 2021年4月1日

5 設置する学科等の名称及び募集定員と学生・生徒・園児、教職員数

(1) 湊川短期大学

(単位：人)

湊川短期大学	募集定員	収容定員	学生数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
人 間 生 活 学 科	50	100	82	8	15	7	3
幼児教育保育学科	100	200	150	12	20	9	4
専攻科健康教育専攻	10	20	7				
専攻科生活福祉専攻	10	10	1				
合 計	170	330	240	20	35	16	7

(2) 三田松聖高等学校

(単位：人)

三田松聖高等学校	募集定員	学則定員	生徒数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
総 合 コ ー ス							
特 進 コ ー ス							
合 計	210	810	700	55	9	9	2

(3) 湊川短期大学附属幼稚園

(単位：人)

	募集定員	認可定員	園児数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
西 舞 子 幼 稚 園	70		194	16	13	0	2
神 陵 台 幼 稚 園	62		142	14	10	0	1
北 摂 第 一 幼 稚 園	110		214	21	17	1	2
北 摂 中 央 幼 稚 園	100		256	18	14	1	3

北 摂 学 園 幼 稚 園	8 5		1 4 1	1 1	1 6	0	1
合 計	4 2 7		9 4 2	8 0	7 0	2	9

(4) 湊川短期大学附属保育園

(単位：人)

	募集定員	収容定員	園児数	保育士数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
キッズポート保育園	1 5	7 0	8 2	1 7	6	2	6
ぽるとこども園		1 9	1 8	8	3	0	0
合 計	1 5	8 9	1 0 0	2 5	9	2	6

※ 学生・生徒・園児・教職員数 2 0 2 1 年(令和 3 年 5 月 1 日現在)

2

事業の概要

2021年度の主な事業

(法人)

学園駐車場防犯カメラ設置	260,000	㈱花崎電気工事
松聖庵他他改修工事	1,434,708	にこにこリフォーム㈱
旧古林邸解体工事	2,007,500	にこにこリフォーム㈱

(短大)

3号館玄関修理	213,400	日興建設㈱
相野荘境界敷地外部側溝設置工事	330,000	日興建設㈱
寮駐車場敷地内排水管路敷設他工事	385,000	日興建設㈱
寮敷地内フェンス撤去・設置工事	315,700	日興建設㈱
寮敷地内門扉補修工事	215,600	日興建設㈱
寮正門横フェンス・門扉塗装他工事	803,000	日興建設㈱
図書館3階書庫照明LED化	610,280	㈱花崎電気工事
楠木寮西側法面雨水枳内インバート設置工事	294,800	㈱アークス
楠木寮屋上給水管補修工事	396,990	㈱なべい設備商会
5号館水道直結切替工事	233,200	㈱なべい設備商会
はらべこあおむしすべり台	492,300	㈱神戸学習社
寮防犯カメラリニューアル	836,000	総合警備保障㈱

(高校)

菊水寮103号室 集会室改修工事	1,100,000	但南建設㈱
部室物置設置工事	242,000	但南建設㈱
部室棟 廊下まわり改修工事	1,683,000	但南建設㈱
部室棟 屋根庇改修工事	561,000	但南建設㈱
野球場防球ネット・支柱建直し	396,000	清立商工㈱
松聖館給湯器2台	763,620	富成商店
シュレッダー	396,000	第一電子㈱
情報教室パソコン周辺機器	818,400	㈱大塚商会
サーバーラック	293,282	㈱大塚商会
普通教室改修工事(情報室)	10,824,000	塩谷建設㈱
記念体育館大規模改修工事	52,030,000	山陽建材工事㈱
停電時総合バックアップバッテリー他交換工事	223,300	東芝エレベータ㈱
総合グラウンド雷レーダーの雷対策工事	1,346,400	音羽電機工業㈱
新体育館放送室マイクワイヤレス受信機チューナー更新	236,500	イマイ無線
情報室サーバー移設に伴うLAN及びTEL工事	935,000	ミキ通設㈱
情報教室改修 情報機器一式	16,652,454	㈱大塚商会

(西舞子幼稚園)

W i - F i アクセスポイント設置	255,200	ミキ通設㈱
----------------------	---------	-------

(神陵台幼稚園)

W i - F i アクセスポイント設置	286,000	ミキ通設㈱
NTT及びオプテージ光回線移設に伴う工事	205,150	ミキ通設㈱
旧調理室改修工事	473,000	但南建設㈱
駐車場造成工事	9,845,000	但南建設㈱
調理室改修工事	13,277,000	但南建設㈱
2階教室床部分張替工事	231,000	但南建設㈱
駐車場造成設計・監理	550,000	ナカタ設計
給食室・園長室改修設計・監理	1,419,000	ナカタ設計
業務用冷凍冷蔵庫	385,000	ホシザキ阪神㈱
おもちゃ殺菌子	393,800	㈱ビティ
ブラッシュボックスシャッター付4段8列	1,431,060	ひかりのくに
園庭オーニングテント修繕工事	231,000	但南建設㈱

(北摂第一幼稚園)

クライミングラダー	900,000	チャイルド社
W i - F i アクセスポイント設置	269,500	ミキ通設㈱
駐車場改修工事	1,650,000	但南建設㈱
冷凍庫	275,000	㈱ビティ

(北摂中央幼稚園)

パソコン3台	320,100	N E C フィールディング㈱
大規模修繕工事第1期	13,310,000	山陽建材工事㈱
棚 制作	880,000	(有)内藤木工所

(北摂学園幼稚園)

W i - F i アクセスポイント設置	275,000	ミキ通設㈱
駐車場内 旧販売センター塗装工事	209,000	但南建設㈱

(キッズポート保育園)

空調機器更新工事	6,674,800	㈱花崎電気工事
エアコン交換に伴うキュービクル動力トランス入替工事	1,774,674	㈱花崎電気工事
5連ロッカー	330,000	チャイルド社

●湊川短期大学

<概観>

湊川短期大学の中期計画・同行動計画に基づき、前年度の成果を検証しながら事業の継続および新たな事業に着手した。少子化に加えてコロナ禍の影響によって入学者数が減少を続ける実態を直視し、その改善を最優先にして全教職員一体で取り組んだ。

1. 学修成果の充実と能力形成、そのための学生支援体制の拡充

(1) 短期大学の教育理念の掘り下げ

現代における本短期大学の存在理由を明確にするために、構成員が共有すべき理念を掘り下げる取り組みを継続する。

- ① 校祖の業績の調査・資料収集を行い、あわせて地域と湊川学に関する研究論文を学長が執筆した。
(湊川短期大学紀要第 56 集)

- ② 建学の精神を初めとする短期大学教育をめぐる基本文章の定期的な点検に、継続して取り組んだ。

(2) 自己充足と社会評価が両立した人材育成

自己の充実と社会人としての基本的能力の形成に努め、即戦力という短期大学の強みを発揮するために、専門教育を充実させる取り組みを行った。

- ① 昨年度実施した 1 単位当たり 15 時間授業の体制を維持、徹底した。
- ② 基礎ゼミ(1 年生)および応用ゼミ(2 年生)の体制を整え、教員が少人数での指導を行う体制を強化した。
- ③ 専門教育を充実させるべく、人間生活学科に 2023 年度の入学生を対象とした「心理デザインコース」の新設を決定し、その準備を始めた。
- ④ 幼児教育保育学科へのコース制導入を継続して検討し、生活福祉専攻科への進学を含め、学生が保育者として持つ独自の能力の獲得を可能にする指導体制の確立に、継続して取り組んだ。
- ⑤ 学園連携プロジェクトである三田松聖高等学校の「保育探究クラス」と幼児教育保育学科との 5 か年の保育者養成コースの 1 年目に取り組み、さらに 2 年目以降を発展させるよう準備を進めた。また附属園と連携しながら、本学園の保育の特質・強みを明確にし、学生がその力を獲得するための具体的な教育・実習を実施する体制づくりを進めた。
- ⑥ 卒業生・就職先へのアンケート結果を、学生の専門教育に生かす体制づくりに、継続して取り組んだ。
- ⑦ 「新型コロナウイルス感染症ガイドライン」に沿って学生の健康を守りながら授業も確実に進行させることを徹底した。そのため、感染者は散発的に発生したが、学生寮も含めて学内でのクラスターの発生はなく休校や閉鎖に至ることはなかった。また新型コロナウイルスの影響により実習期間の短縮も制度的に可能となったが、希望する学生は全員通常通りの実習を受けることができた。

(3) 学生の学修と生活への支援体制の拡充

- ① 2020 年度からキャリアセンターの取り組みとしてエクステンション・プログラムを導入し、資格合格率の向上を図り、公務員等への就職の可能性を拡大させるなど就職に向けての量と質の向上に結び付けた。またレメディアル教育の充実に継続して取り組んだ。

- ② メンタルな相談体制を拡充させるため、課題の整理と改善に継続して取り組む。

3. 短大のブランド化を志向しながら募集活動の効率化を図る

湊川短期大学の特徴と強みを明確にしながら募集活動の拡充を図るために、オープンキャンパスや学校説明会を充実し、ウェブの活用に取り組んだ。出身校への学生の学修成果を周知させる活動は全学で取り組む

- ① オープンキャンパスでは、学科の魅力が具体的に伝わるよう、内容(学科説明・展示・模擬授業等)を改良した。
- ② 高校訪問先を絞り、学生募集活動の効率化を図った。また進学説明会への取り組みを強化した。
- ③ 新型コロナウイルス感染症対策の一環として、または遠方の受験者の獲得策として入試において Web 面接を導入した。
- ④ 人間生活学科の新コース開設をきっかけに、各コースの魅力をアピールするためのパンフレットを作成し、広報に努めた。
- ⑤ 引き続き、学生募集に寮の魅力を位置づけるようにすすめる。

4. ガバナンスの強化と経営の健全化

(1)ガバナンスの強化

- ①学長のリーダーシップの下でのガバナンス強化として、自己点検評価・アセスメント活動を拡充し、認証評価後の新たな体制作り着手した。
- ②客観的評価が行えるよう、IR 活動によって教学や広報等の現状を可視化した。
- ③「湊川短期大学ガバナンスコード」を制定し公表することで具体的に遵守すべき項目を明確にし、ガバナンスの健全性を維持するようにした。

(2) 経営の健全化にむけて

- ①各学科専攻において、数値目標を設定した。結果、人間生活学科は、41 名(定員の 1.03 倍)の入学生を確保し、目標数には達しなかったものの、定員以上の入学生を確保する事ができたが、幼児教育保育学科は、コロナ禍に教育系の不人気拍車をかけ、53 名(定員の 0.53 倍)と低調であった。
- ② 専攻科は人間健康専攻 1 名、生活福祉専攻 3 名と入学者数の伸びが期待できない状態であり、理事会決定で募集を停止し、本科に注力する方針に転換した。
今年度は高校ガイダンスの回数も一昨年並みに回復し、2023年度は入学者増を期待したい。
- ③ 教員数削減策として、特任での採用を継続した。ただし、学校運営にかかわる教員が不足するため教員も運営にかかわるよう制度を変更した。
- ④ 教職員のコスト意識を確立するため、FD 等で経営状況確認と共有を継続する。学生にも、コピーや電気等の無駄遣いの抑制を指導する。

令和3年(2021年)度 学校教育目標
「生徒が生き生き・伸び伸びと活動する学校」

I. 生徒募集状況

① 志願者・入学者・生徒数の推移 ()男子数

(毎年4月1日現在)

年度	募集定員	志願者数	入学者数	全生徒数	1年	2年	3年
R1(2019)年度	210	2,001(1,107)	252(157)	890(563)	252	281	357
R2(2020)年度	210	2,088(1,125)	228(150)	744(478)	228	244	272
R3(2021)年度	210	1,968(1,071)	250(157)	700(448)	250	215	235
R4(2022)年度	210	2,006(1,110)	254(178)	705(467)	254	241	210

② 特別進学コースと総合コースの生徒数・クラス数の推移

平成15年から「特別進学コース」と「総合コース」を設置。

年度	特進コース	クラス数	総合コース	クラス数	クラス数計	(毎年5月1日現在)
H30(2018)年度	71	3	989	27	30	
R1(2019)年度	50	3	840	23	26	
R2(2020)年度	49	3	695	20	23	
R3(2021)年度	48	3	652	20	23	

II. 進路実績(令和4年(2022年)4月現在)

卒業生総数 235名

- ・ 4年制大学: 90名(38%)
- ・ 短期大学: 27名(12%)
- ・ 専門学校: 82名(35%)
- ・ 就職: 21名(10%)
- ・ 就職未定: 10名(4%)
- ・ 進学未定: 3名(1%)

III. 自己発見プログラムの結果

- ・ 特別進学コース1年7組 クエストカップ2022全国大会出場
(コーポレートアクセス部門(アデコ) 3学年連続で突破)
- ・ キャリア進学コース3年5組 佳作受賞(全国大会を逃した団体、今回初受賞)

IV. 部活動の主な結果

- ・ 女子バスケットボール部: 県選手権大会「2連覇」、第74回全国高校選手権大会2連続出場(12月)
県高校総体 準優勝 近畿高校総体 5位
- ・ 男子バスケットボール部: 県高校総体 3位 県選手権大会 4位
- ・ 女子バレーボール部: 県私学選手権大会ベスト8
- ・ 硬式野球部: 県高校野球選手権大会、秋季兵庫県大会 ベスト16
- ・ サッカー部: 県高校総体 ベスト8 県高校サッカー選手権大会 ベスト16
- ・ 男子ソフトテニス部: 近畿高校インドア大会出場
- ・ 陸上競技部: 全国高校総体 男子800m 第6位 県高校ランキング1位
- ・ 水泳部: 県選手権大会女子50m背泳優勝、近畿総体女子200mバタ8位
- ・ 吹奏楽部: 県吹奏楽コンクール出場 県アンサンブルコンテスト銀賞(CL3重奏)

V. 令和3年(2021年)度の主な行事

- 4月9日 第71回入学式
- 6月 松聖祭(文化の部) 中止 / 松聖祭(体育の部) 延期
- 7月5,6日 3年生修学旅行(三重県伊勢・長島)
- 7月31日、8月7日 学校見学会(中学生見学者:計728名 昨年比+183) 参加制限
- 8月1,21,22日 第16回兵庫私立中学・高等学校展(資料配付会) 西宮・神戸

10月19,21,26日	学年別体育祭(体育の部代替)
11月8日	授業公開ウイーク
11月16日	校内弁論大会(1,2年生)
11月20日	令和4年度入試説明会全5回(448名 昨年比▼303) 参加制限 個別相談会、Web入試説明会の実施
12月17日	人権教育講演会3年生1, 2年生はWeb配信
1月16日	2年生修学旅行(北海道キロロリゾート)
1月21日	1年生校外学習(京都)
2月10日	令和4年度入学試験(志願者:2,006名)
2月18日	第68回卒業式

VI. 総括

- 本校募集エリアの中学生数が昨年度より約500名の増となっていた。コロナ禍のため見学会・説明会において参加人数制限が必要であったり、大阪私学のこれまで以上の攻勢(通学費補助)など大変厳しい状況があったが、2022年度志願者は、昨年度比38名の増となった。専願者211(特11+総200)と昨年比+28と2年連続で回復したが、兵庫県立高校入試に第2学区における充足状況から併願入学数は44名と昨年度比-24名の減と大変厳しかった。持てる学校環境の活用・新規取り組み(塾訪問の強化戦略・募集戦略(9月から個別相談会、Web入試説明会))などで魅力ある学校状況の発信力強化に努めたがさらなる取り組みが必要である。
- 2022年度から新学習指導要領に基づく教育が始まるに際し、コースの見直しを行い、総合コースから、進学アスリートコースの独立を決定した。募集定員は、進学アスリートと総合の2コース合計180名と同数である。また、進学アスリートコースは、26単位+専門スポーツ4時間と教育課程に特色を持つようにした。さらに大学進学コースは、履修単位を見直し30単位+アドバンス4単位とした。アドバンスの4時間は、7時間目に受験対応の選択授業を行う。
- 本校独自の「自己発見プログラム」の柱である、探究学習プログラム「クエストエデュケーション」に特別進学コースの1年生18名とキャリア進学コースの3年生81名が取り組んだ。1年生は、堅実に仕上げ1チームが全国大会に駒を進め、3学年連続の出場を達成した。3年生は、2学年でのキャリア探究における発表経験があり、表現力豊かなプレゼンテーションを行った。3年生は全国大会出場を果たせなかったが、1チームが佳作を初受賞した。全国大会は、昨年に続きオンラインで開催された。残念ながら、セカンドステージに進む事はできなかったが、審査員より好評を受けた。
- 進学指導の新しい取り組みとして、放課後校内予備校として集団対面授業形式授業と個別オンライン授業方式を始めた。集団対面式授業形式は、特別進学コースの受験対策授業で来ていただいている塾講師に担当していただいている。個別オンラインは原則2人がペアになり、学校または自宅で個別指導塾の先生から授業を受けている。日々の授業、補講、など全ての教育サービスを見直し、受験に必要な学力をつける教育と、未来の創り手となるために必要な資質・能力を備える教育を目指さなければならない。生徒が本校で学んで良かったと実感できる授業体制を作り上げる。
- ICT教育について、2021年新入生から一人1台のiPadを導入した。3年間のレンタル方式を採用(機器レンタル代と通信代を合計し3,084円/月を生徒より徴収)。iPadがツールとして活用できるように、指導改善をしながら取り組む。情報室を管理棟3階に移転した。グループワーク型の授業ができるように、移動式学習機とノート型PCを採用した。2024年度に生徒全員がiPadを持つと、現状のネットワーク環境では通信障害が起きる状況である。2022年度中に三田市にビジネス10G回線の運用が開始されるため、10G回線を導入し各館までは10Gの通信スピードが確保できるようにネットワーク改修工事をした。次年度以降も、各教室まで通信障害が生じないように改修工事を進める。
- 2021年度の新入生から高大連携プロジェクト「保育探究クラス」がスタートした。プロジェクト参加生徒は22名(内3名が奨学生)である。生徒は科目等履修生として登録され、「保育基礎入門」の授業を高校の課外授業の時間帯で90分×15回履修し、全員が優秀な成績で単位認定された。2年生では21名が履修登録し、木曜の5, 6時間目に音楽基礎 I (ピアノ実技)と保育技能検定の技能講座の授業を履修する。
- 校内業務改革をすすめる、①生徒募集の戦略的取り組み ②校務運営改革に関すること ③生徒指導に関する(教務・進路・生徒指導)を役割分担を明確に行い、校長、副校長、主幹のリーダーシップのもと取り組んだが、まだまだ充分でないため改善をすすめる。
- 1年間の変形労働時間制を導入し3年が経過した。試行錯誤を繰り返しながらシステムの改修を行い、労働時間も客観的把握にできるようになった。働き方改革をさらに進める取り組みを行う。

湊川短期大学附属西舞子幼稚園 2021年度事業報告

(1)在籍状況(利用定員200名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2歳児	4	5	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	78
満3歳児	3	4	6	6	6	15	15	16	16	16	16	16	135
3歳児	59	59	59	59	59	59	60	60	60	60	60	60	714
4歳児	63	63	63	63	63	61	61	61	61	62	62	62	745
5歳児	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	64	768
計	193	195	198	199	199	206	207	208	208	209	209	209	2440

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が度々発令される中、登園自粛を呼びかけることはあったが、休園することなく保育を続けることはできた。制限、制約のある中、通常通りの保育の保障をするための工夫も必要となった。行事の中止や参観者の制限など、行事の見直しや新たな取り組みなど見直す機会ともなった。何度かの学級閉鎖を保護者の協力と理解のもと乗り越え、無事一年を終了することができた。しかし新型コロナウイルス感染収束の兆しは見えない。今後も園の職員体制をしっかりと整え、子どもの日々の育ちを見える化して、保護者に説明責任を果たしながら、安定した園運営と、さらに広い視野に立って本園の特色の理解に努める。

(2)運営・経営状況

・限りある職員数の中で、清掃だけでなく、新型コロナウイルス感染拡大防止のための徹底した消毒などやらなければならない日々の作業が増え大変であった。職員一人一人が互いに声をかけ合いながら今すべき事、時間の割り振り等、意識して行動に移す努力を続けてきた。年度末近くに育休中の職員が2人が復職したが、3学期は新型コロナウイルス感染拡大の余波でシフト配置が変更されることも度々あった。しかし、ここ数年定着している常勤的教諭、非常勤の職員も多く、子どもを見守る安定した人的環境となっていたと実感する。

・新任3名を迎え、主幹教諭2名の体制となり、若手職員の指導、事務分掌など役割分担をし、滞りなく進めることができた。今年度末に2名の中堅教諭の退職、主幹教諭の異動など次年度には新たな職員体制の構築が必要となってくる。

(3)怪我・事故

・園児の病院での診断、治療は、脳外科1、外科7、歯科3、眼科2、耳鼻咽喉科1だった。怪我をした時の対応など、養護教諭不在ということもあり、万全を期すために病院で受診し、指示を仰ぐことが多かった。園長・主幹だけでなく、職員それぞれが子どもの健康安全の意識を高くもち、初期対応に機敏に取り組むことに努めてきた。また健康状態に配慮を要する園児は、今年度も、痙攣、発熱初期の熱性痙攣、重度の食物アレルギーなど多く、ダイナップ、エピペン等の薬剤を園で預かった。今後も全教諭で一人一人の病状理解し合いながら、初期対応に各教諭が最善を尽くせるよう(緊急時対応シュミレーション、AED研修、エピペン使用方法など)、スキルを高めていく。

(4)子育て支援事業

・ひよこルーム(預かり保育):AM7:00~19:00 長期休暇中も有 1日平均約80人前後 各号により料金設定有

・つばみ教室:月2回程度、登録10組。有料、満2歳以上未就園親子。親子体験遊び中心。園行事在園児交流

・すこやかひろば:月2回程度、満1歳以上未就園親子。随時登録可。地域友達との触れ合いの場とする。

・わくわくようちえん:就学前幼児対象、年間48回、園にて年長児と共に幼児教育体験。本年度該当なし。

※つばみ教室、すこやかひろば、わくわくようちえんは、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、緊急事態宣言下、まん延防止重点措置中は未開催。

(5)職員研修

・新任研修(年5回)・附属5園、短大研修

・県、神私幼連盟研究会(特別支援研修(4名)、専門研修(1名)、主任研修(1名)、園長研修(1名))

・私立幼稚園研修会・幼小連絡会(小学校長、幼稚園、保育園長)

※新型コロナウイルス感染拡大の為に、リモートでの研修

(6)購入・修繕等

・新型コロナウイルス感染予防対策として遊戯室・各保育室・保育室遊具・園バス等に光触媒Jーチタンコートを施した。

(7)異年齢交流・連携事業活動

・トライやるウィーク(11月:明石市立中学校2名受け入れ)

・実習生受け入れ(11月:体験実習・10月:本実習)・交通安全教室(新型コロナウイルス感染拡大の為に)

・就学前事業(新型コロナウイルス感染拡大の為に、中止)

・消防署体験訪問(新型コロナウイルス感染拡大の為に、中止)

・プレ親体験交流学習(新型コロナウイルス感染拡大の為に、中止)

(8)広報・社会活動

・園児育て支援活動PRボード作成掲示(区保健所担当窓口)・神幼研ホームページ園紹介内容の更新PR向上

・幼稚園ホームページの更新充実と各学年 ブログ更新(1~2週間ごと)

(9)園内研究(委員会)活動

・教育記録よりの実践事例集作成・行事に向かったの全学年保育実践協議・検討(必要に応じ)

・子どもの発達に添った実践を基にした話し合い・年間通しての保育日誌に基づく保育内容指導

・園長からの保育参考資料配布・市特別支援教育インクルーシブ教育相談員訪問観察指導(年2回実施)

・(県)キンダーカウンセラー訪問指導(年6回)

湊川短期大学附属 神陵台幼稚園 2021年度事業報告

(1) 在籍状況(利用定員 180名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	1	5	5	5	7	8	9	9	9	10	10	10
3歳児	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	504
4歳児	44	44	45	45	45	45	45	45	45	45	45	46	539
5歳児	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	672
計	142	143	148	148	148	150	151	152	152	152	153	154	1793

(2) 運営・経営状況

- ・幼稚園型認定こども園となり8年目。給食の厨房工事により保育室が1室減となったことと3歳児の人数減により年少組は満3歳児との混合クラスとなった。昨年度末の在籍155名に対して年度末在籍は154名。
- ・保育の質を守りつつ、感染対策(換気、職員・園児のマスク着用、手洗い、手指消毒、玩具・設備消毒、食事の飛沫感染ガード設置等)をしながら子どもの育ちのために工夫して保育を行った。保護者もご理解くださり協力的であった。
- ・コロナ禍で、行事などに保護者参加を制限せざるを得ない状況であったので、HPのブログを活用し、保育の様子を写真で見えていただけるようにした。生活発表会の代わりに動画配信とした。
- ・50周年記念事業を行った。コロナ対策で来賓は無し。理事長先生のお言葉をいただき、子どもたちがお祝いの歌やダンスや制作を行った。地域の方が「おかげさまで50年」の横断幕等を見て、「お祝いに」とお手製の門松をくださった。
- ・新任4名が配置された。年度途中での職員の退職や療養は無く、保護者には安心していただけた。

(3) 怪我・事故

- ・医療機関受診件数は、外科2件、内科1件、眼科1件、歯科4件
転倒もしくは友達と衝突したことによる打撲、外傷、歯槽骨骨折、歯亜脱臼

(4) 子育て支援事業

- ・預かり保育 月曜日～土曜日 7時～19時
- ・私立幼稚園2歳児子育て応援事業「いちご教室」(在宅2歳児対象)を、コロナ対策をして実施した。
- ・みんなの幼稚園事業の「ふれあい広場」(未就園児対象)も、人数を制限し、完全予約制で実施した。
- ・わくわく幼稚園開設事業(在宅5歳児対象)を開設するが本年度も申し込みなし。

(5) 職員研修

- ・会場またはリモートで研修を受講
神戸市私立幼稚園連盟主催新任研修・キャリアアップ研修、兵庫県私立幼稚園協会主催第38回オンライン教員研修大会、「神戸市幼稚園教育連絡会」研修会、特別支援教育研修、垂水区公私幼稚園合同研修、神戸地区私立学校幼稚園人権教育研究協議会、兵庫県認定こども園園長等研修

(6) 購入・修繕等

- ・おもちゃ殺菌庫購入、園児用靴箱取り換え、光触媒抗菌抗ウイルスコート施工(園舎内・バス内・遊具)
駐車場工事(プールと池を撤去し駐車場に)

(7) 異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやる・ウィークや小中学校との交流体験活動は新型コロナの影響で中止
- ・高校生との環境防災交流を新規事業として行う。(県立舞子高等学校)
- ・教育実習生2名・観察実習生4名 受け入れ
- ・交通安全教室(垂水警察来園指導)

(8) 広報・社会活動

- ・神戸市こども家庭局のHP等への情報提供(預かり保育実施園一覧表)
- ・広報誌「ちやいどのと・神戸市垂水区版」に情報掲載
- ・神戸市地域子育て応援プラザ垂水に情報掲載
- ・50周年記念事業報告(兵庫県教委、神戸市教委、県私立幼稚園協会、神戸市私立幼稚園連盟、地域自治会他)

(9) 園内研究(委員会)活動

- ・行事の準備や反省などを通して教員同士で話し合い改善策をまとめる
- ・年間を通しての保育日誌に基づく保育内容指導
- ・(県)キンダーカウンセラー訪問指導
- ・神戸市特別支援教育インクルーシブ教育相談員訪問観察指導
- ・「湊川短大の学生と語る会」に経験豊かな教諭が参加

湊川短期大学附属北摂第一幼稚園 2021年度事業報告

(1)在籍状況(利用定員238名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1歳児	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
2歳児	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
満3歳児	0	3	5	7	7	8	10	10	10	10	10	10	90
3歳児	56	55	55	55	55	56	56	56	56	56	55	55	666
4歳児	61	61	61	62	62	62	61	61	61	61	61	61	735
5歳児	78	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	77	925
計	213	214	216	219	219	221	222	222	222	222	221	221	2632

(2)運営・経営状況

- ・クラス数については昨年度同様である。
- ・職員の退職は正規2名、非常勤1名である。
- ・担任(常勤)、副担任(非常勤)と9クラス全て2人体制で取り組みが出来た。
支援の必要な園児についても、フリー教諭が補助につくことで、落ち着いて過ごすことができた。
- ・コロナ禍のため、バザーは取り止め、秋祭りと呼ばれてゲームを準備してもらい、三役さんを中心に、学級委員さんのお力で、楽しむことができた。保護者の皆様が園運営に大変協力的で、良い関係性の中で終えることができた。
- ・新2号認定の制度ができたことで、1号認定子どもの預かり保育利用児が増加した。また、満3歳児の預かりや、1・2歳児の預かり時間の長時間化と、土曜保育の申し込みも前年度同様多い状況である。

(3)怪我・事故

- ・病院での診断、治療・・・13件（整形外科4件、外科1件、形成外科6件、眼科2件）受診。

(4)子育て支援事業

- ・すこやか広場、月に2回実施(園庭開放・職員と遊ぼう・教育相談)
- ・あいあいルーム
コロナ禍であることを考慮し、親子コースは一旦休止し、こどもコースのみ実施。
月3～4回（延べ利用者数 380名）
本年度も非常に好評で利用者が年々増加し、嬉しい悲鳴をあげている。
先に述べたあいあいルームを経験された方がそのまま幼稚園に入園したいという希望者が多い。
内容的にも充実しているので、希望者が多いのではないかと推察できる。

(5)職員研修

- ・キャリアアップ研修、新任研修
- ・特別支援教育では、本園児が通園している療育施設に担任が出向いたり、逆に園に来て普段の様子を見ていただいたりし、担当職員の方に丁寧に教えていただき、両輪で園児の成長に向けて取り組むことができた。

(6)購入・修繕等

- ・常設駐車場の整備
- ・クライミングラダー設置

(7)異年齢交流・連携事業活動

- ・教育実習生の受入
- ・武庫小学校との交流

(8)広報・社会活動

- ・三田市と連携し、子育て支援事業の掲載。

(9)その他

- ・特別支援の必要な園児への対応を学ぶため、県から派遣されているキンダーカウンセラーの先生(臨床心理士)にお越しいただき、ご指導いただいた。

湊川短期大学附属北摂中央幼稚園 2021年度事業報告

(1)在籍状況(利用定員290名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前年度3月
満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳児	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	80	80	81
4歳児	85	85	85	85	85	85	85	85	85	84	84	84	82
5歳児	84	85	85	85	85	86	86	86	86	86	87	87	94
計	250	251	251	251	251	252	252	252	252	251	251	251	257

* 昨年度と比較して

前年度より若干減少した。年長組は中途入園が3名。発達支援の加配要員を3クラスに配置した。

新型コロナウイルス感染は年間で園児34名、教職員は7人であった。

一年を通じて感染防止の対策に努めたが、オミクロン株の感染力は脅威で防止効果が薄れた。

(2)運営・クラス状況

新規採用は常勤教諭2名。非常勤2人。運営は比較的安定した一年であった。保護者の会の活動はコロナ対応で一部中止、内容見直し、分散型で実施した。親子学級は中止した。年度末退職者は養護教諭1名、常勤的教諭1名、非常勤1名であった。

(3)怪我・事故

・病院で診断、治療を受けた回数は14回

(外科・整形外科 10件 歯科 1件 眼科 2件 脳神経外科 1件 接骨院 5件)

主な内容は挫創、歯茎出血、眼球炎症、肘内障等であった。

(4)子育て支援

・10組の親子を受け入れた。申し込みは例年同様に多いが、個別配慮の必要な子どもを考慮しているため。色々な企画や内容的にも充実した取り組みを行った。

(5)職員研修

・新任研修、県、市主催の研修等はリモート、人数制限付きの対面等で実施した。キャリアアップ研修、課題サポート研修、子育て支援研修等は希望者のみ参加した。年度末の教員研修大会や新任研修等、3月末の新任研修は今年もリモート開催となった。

公開保育や園内研修後にふりかえりを行い、保育に役立てた。

(6)異年齢交流・連携事業活動

・トライやるウィークは中止。三田祥雲館高校と三田西陵高校は芋掘りは実施できた。すずかけ台小学校との交流は全て中止。波豆川地区とは田植、稲刈り、芋の苗植え、収穫、しめ縄作りなど多くの交流活動ができた。

(7)広報・社会活動

・笑顔ですくすくSUNだっこ、ハニーFMのラジオ出演等行った。飼育していた羊のメちゃん16年で逝去。長寿を認められ三田市獣医師会より表彰を受けた。

(8)園内研究(委員会)活動

・キンダーカウンセラーとのカンファレンス、三田市教育委員会、保育振興課からの教育相談、保育サポート、巡回相談は予定通り実施した。公開保育は10月に実施した。

湊川短期大学附属北摂学園幼稚園 2021年度事業報告

(1)在籍状況(利用定員135名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3歳児	43	43	43	43	43	42	42	42	42	42	41	41	507
4歳児	41	41	41	41	41	41	42	42	42	41	41	41	495
5歳児	56	57	57	57	57	56	56	56	56	56	56	56	676
計	140	141	141	141	141	139	140	140	140	139	138	138	1678

* 昨年度と比較して

・入園率4月より95%以上保持。

2020年度 3月142名 2021年度 3月138名

(2)運営・経営状況

今年度も新型コロナウイルスの感染が治まらず、拡大防止対策として、来賓抜き、保護者の参列も一家庭一人の制限を設けた入園式で始まった。園経営方針も昨年度につづき「こどもの健康と安全の確保」「保育の質の向上」「主要な行事の完全実施」の3つのことを柱に「心身ともにたくましく、やさしい心をもった子どもの育成」をめざして取り組んだ。1年間通して山有り谷有り、困難なこともあったが、職員が心をひとつによくまとまって、行事の毎に全園児がグングン成長し大きな成果が治められた。また、思うように研修機会が作れない状況下にあったが、兵庫県私立幼稚園協会地区別教員研修大会で三田市内私立幼稚園を代表して発表できたことは特筆すべきことである。より一層研鑽を積み、地域に根を張った信頼される幼稚園となるよう皆で力を合わせて一所懸命頑張ってきた。

(3)病院で診断・治療を受けた回数3回(外科2回、眼科1回)

(4)子育て支援事業

・未就園児とその保護者の為の「すこやかひろば」を開設、又園庭開放びを設け親子遊び体験、絵本の読み聞かせ等を行った。

※緊急事態宣言中は活動なし

・兵庫県わくわくようちえん事業

(5)職員研修

・特別支援連携・学校園所連携・三私幼研究部会・兵庫県私立幼稚園協会地区別教員研修大会発表・公開保育研修

(6)購入・修繕等

購入 動画配信システム導入

修繕 駐車場剪定、除草 ・給食室機器清掃及び交換

(7)異年齢交流・連携事業活動

・湊川短大実習生受け入れ・県立三田西陵高校保育体験等を実施した。

(8)広報・社会活動

・コロナ禍にあり、地域活動等は自粛 ・タウン誌園情報掲載

(9)園内研究(委員会)活動

・保育研究会議・保育室環境整備会議・特別支援に係る会議・安全対策委員会・感染症対策委員会・アレルギーについての会議

湊川短期大学附属キッズポート保育園 令和3年度事業報告

(1)在籍状況(定員70名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	7	8	9	10	10	10	10	10	12	12	12	12	122
1歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
2歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
3歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
4歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
5歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
計	81	82	83	84	84	84	84	84	86	86	86	86	1010

(2)運営・経営状況

前年度育児休暇を取得していた2名(正規)が早めの4月より復帰したことで人員配置が十分に行え、0歳児クラス入園希望の在園児兄弟も少なかったことから、年度始めより例年と比べて早い時期に0歳児をの追加受け入れを行った。また、前年度より平均して全体で4名多く受け入れたことから、三田市保育定員弾力化緊急支援事業の補助金を受けることができた。

(3)怪我・事故

・病院で診断、治療を受けた回数は5回(歯科2件、形成1件、整形1件、救急1件)
いずれも1回の診療のみ、完治済である。(救急は午睡時に2歳児1名が熱性けいれんを起した為。)
また、日本スポーツ振興センターに災害給付金申請は2件であった。(形成1件、整形外科1件ずつ)

(4)子育て支援事業

- ・三田市子育てステーション事業はコロナ禍ということで戸外での活動を中心に基本、毎月1回実施。
※コロナ感染症の感染拡大が見られた月には参加者なしのこともあった。
- ・兵庫県委託事業の乳幼児応援事業は新型コロナウイルスの影響により実施内容を園庭開放中心で実施。

(5)職員研修

- ・園外研修
今年度はコロナウィルスの影響により、例年行われている研修が中止になることが多く、処遇改善のキャリアアップ研修は通常開催された為、参加することができたが、例年と比べ研修参加は減少となってしまった。
※キャリアアップ研修(保護者支援、乳児、食物アレルギー、マネジメント)
※保育課題サポート研修等
- ・園内研修
※乳児支援研修

(6)購入・修繕等

- ・全館のエアコン取替え工事实施
- ・3歳児クラス、園児用ロッカー買い替え

(7)異年齢交流・連携事業活動

- ・とらいやるウィークは三田市、神戸市ともに中止になった。
篠山鳳鳴高校1日体験保育、三田西陵高校保育体験(予定より日数が少なくなった)
すずかけ台小学校との交流会(校内見学は実施できなかったが行事の練習風景見学は実施できた)
保育士養成校の保育、実習生受け入れ等を実施。

(8)広報・社会活動

- ・三田市内認可保育園所・幼稚園合同による就職フェアはコロナウィルス感染拡大等を考慮し、参加を見合わせた。

(9)園内研究(委員会)活動

- ・ひやりハット委員会、幼児クラス保育会議、乳児クラス保育会議
- ・離乳食会議、給食会議、アレルギー児配食会議等を行った。

湊川短期大学附属ぼるとこども園 2021年度事業報告

(1)在籍状況(定員19名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	2	2	2	2	2	2	3	4	4	4	4	4	35
1歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
2歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
計	18	18	18	18	18	18	19	20	20	20	20	20	227

(2)運営・経営状況

5年目の運営も順調に0歳児を確保することができ、安定することができた。ありがたいことに商業施設の中のワンフロアという園の環境は不利な中でコロナウイルスの影響を最小限で抑えることができた為休園になることがなかったのは大きかった。

(3)怪我・事故

・今年度も園での怪我や事故は少なく、受診を要する怪我や病気もなかった為日本スポーツ振興センターの利用はなかった。引き続き安全な保育をしていきたい。

(4)職員研修

キャリアアップ研修、三田市課題サポート研修

研修を受ける機会が少なかった。保育担当制を進めるためにもキッズポート保育園への研修や連携を密にとっていきたい。

(5)連携事業活動

・連携園との交流活動

(6)園内研究(委員会活動)

・ひやりハット委員会

・離乳食・アレルギー児対応会議等を行った。

3 財務の概要

学校法人 湊川相野学園

◇ 計算書類の読み方 ◇

学校会計の計算書類は、一会計期間における資金の収入及び支出の流れを明らかにする資金収支計算書、一会計期間の経営状態を明らかにした事業活動収支計算書及び、一定時点の財政状況を示した貸借対照表があります。

資金収支計算書は、その年度の教育・研究諸活動に対応する資金の使途（資金支出）とこれに対する資金の調達（資金収入）のすべてを明らかにしたものです。通常の研究教育に関わる収入・支出とともに、施設の建設や借入金等も含んだ全ての資金を伴う収入・支出が掲載されております。また、平成27年度より、活動区分資金収支計算書の作成が義務付けられました。活動区分は、教育活動・施設整備活動・その他の活動に区分され、学校にどのような収入がありこれをどう使っているか、また、資金繰りの健全性があるかを表しています。

事業活動収支計算では、教育活動収支と教育活動外収支及び特別収支に分かれております。教育活動における収支差額を教育収支差額といい、教育活動外収支までを含めた収支差額を経常収支差額といいます。さらに、特別収支差額も含めた収支差額が基本金組入前当年度収支差額となります。これらは、バランスの均衡状態を明らかにすることと、経営成績を明示することを目的としています。もし、このバランスがとれず支出超過（赤字）ということになれば、健全な財政状態とはいえません。赤字解消に努力しなければ、教育・研究活動に支障をきたすことになりかねません。

貸借対照表は通常の企業会計とは異なり固定性配列法で表示しております。固定性配列法とは、配列を資産・負債の換金性の面からとらえ、換金性が低い、すなわち固定性の高い項目の順に並べる方法です。この配列法は公益事業、鉱山業など固定資産の比重の高い企業の設備資金の分析に有用であるとされています。

基本金組入れは、学校がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持することを要求されていることから、基本金対象資産として定められた資産相当額は、明確に区分し、事業活動支出に充てるべきでないという学校法人会計の基本的な考え方に基づく会計処理です。

今回の会計基準の改正では、以前のように、帰属収入から基本金組入額を控除して消費収入を算出するのではなく、基本金組入前当年度収支差額がわかりやすい計算方式となっています。

なお、基本金および基本金の対象となる資産は、具体的に次のものをいいます。

① 第1号基本金

施設・設備などの固定資産（図書を含む）の取得額

② 第2号基本金

将来の施設取得等のために収受した寄付金等を、あらかじめ計画的に積み立てる金銭等資産の額

③ 第3号基本金

奨学金等の基金として保持し運用する金銭等資産の額

④ 第4号基本金

恒常的に保持すべき資金（消費支出の1カ月分）

以上のように、基本金には、必ず対応する資産がありますが、基本金自体は何らの資産ではありません。基本金は、学校が継続して維持すべき資産を概念的に金額で表した規模ということになります。

2021年度

財務報告

●資金収支計算書●事業活動収支計算書●貸借対照表
●活動区分資金収支計算書(千円単位四捨五入のため差異あり)

学校法人 湊川相野学園

資金収支計算書
2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,483,305	1,495,253	△ 11,947	学生生徒等納付金収入	660,639	641,251	19,388
教育研究経費支出	402,487	403,029	△ 542	手数料収入	42,312	42,358	△ 46
管理経費支出	281,276	277,615	3,661	寄付金収入	15,812	17,379	△ 1,567
借入金等利息支出	1,596	1,596	0	補助金収入	1,249,249	1,312,807	△ 63,558
借入金等返済支出	19,440	19,440	0	資産運用収入	23,007	28,406	△ 5,399
施設関係支出	11,633	11,633	0	資産売却収入	300,050	300,050	0
設備関係支出	34,720	30,125	4,595	事業収入	93,138	96,554	△ 3,416
資産運用支出	509,825	582,895	△ 73,070	雑収入	118,344	122,225	△ 3,881
その他の支出	244,803	554,899	△ 310,096	借入金等収入	0	0	0
予備費	0	0	0	前受金収入	122,298	126,882	△ 4,584
資金支出調整勘定	△ 133,339	△ 153,853	20,514	その他の収入	358,824	717,220	△ 358,395
次年度繰越支払資金	1,694,313	1,746,260	△ 51,946	資金収入調整勘定	△ 268,342	△ 270,969	2,628
				前年度繰越支払資金	1,834,727	1,834,727	0
支出の部合計	4,550,059	4,968,890	△ 418,831	収入の部合計	4,550,059	4,968,890	△ 418,831

事業活動収支計算書
2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
人件費	1,483,305	1,499,583	△ 16,278	学生生徒等納付金	660,639	641,251	19,388
教育研究経費	596,953	598,160	△ 1,207	手数料	42,312	42,358	△ 46
管理経費	298,493	295,052	3,442	寄付金	15,812	17,379	△ 1,567
徴収不能引当金繰入額	0	0	0	補助金	1,249,249	1,312,807	△ 63,558
				事業収入	93,138	96,554	△ 3,416
				雑収入	118,344	122,225	△ 3,881
教育活動収支差額	△ 199,257	△ 160,221	△ 39,036				
借入金等利息	1,596	1,596	0	受取利息・配当金	23,007	28,406	△ 5,399
その他の教育活動外収	0	0	0	その他の教育活動外収	0	0	0
教育活動外収支差額	21,411	26,811	△ 5,399				
資産処分差額	0	141	△ 141	資産処分差額	0	300	△ 300
その他の特別支出	0	415	△ 415	その他の特別収入	0	0	0
特別収支差額	0	△ 256	256				
支出の部合計	2,380,347	2,394,947	△ 14,599	収入の部合計	2,202,502	2,261,280	△ 58,779
予備費			0				
基本金組入前当年度収支差額	△ 177,846	△ 133,666	△ 44,180				
基本金組入額合計	△ 65,793	△ 121,456	55,663				
当年度収支差額	△ 243,639	△ 255,123	11,484				
前年度繰越収支差額	△ 423,516	△ 626,046	202,530				
基本金取崩額	20,000	20,000	0				
翌年度繰越消費収入超過額	△ 647,155	△ 861,169	214,014				

貸借対照表
2022年3月31日

(単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	8,042,169	8,115,253	△ 73,084
(1)有形固定資産	5,599,871	5,770,715	△ 170,843
(2)その他の固定資産	2,442,297	2,344,538	97,759
流動資産	1,871,346	1,879,823	△ 8,476
合計	9,913,515	9,995,076	△ 81,561

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	461,209	476,318	△ 15,109
流動負債	353,584	286,369	67,215

第1号基本金	9,598,892	9,550,435	48,456
第2号基本金	188,000	135,000	53,000
第4号基本金	173,000	173,000	0
繰越収支差額	△ 861,169	△ 626,046	△ 235,123

合計	9,913,515	9,995,076	△ 81,561
----	-----------	-----------	----------

活動区分資金収支計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位 千円)

教育活動による資金収支	
項目	金額
教育活動資金収入計	2,232,574
教育活動資金支出計	2,175,482
差引	57,092
調整勘定等	△ 24,294
教育活動資金収支差額	32,798
施設整備等活動による資金収支	
項目	金額
施設整備等活動資金収入計	174,864
施設整備等活動資金支出計	114,758
差引	60,106
調整勘定等	12,484
施設設備等活動資金収支差額	72,590
その他活動による資金収支	
項目	金額
その他活動資金収入計	829,388
その他活動資金支出計	1,023,691
差引	△ 194,303
調整勘定等	448
施設設備等活動資金収支差額	△ 193,855
支払資金の増減額	△ 88,467
前年度繰越支払資金	1,834,727
翌年度繰越支払資金	1,746,260

過去5カ年の財務の推移表

単位 千円

資金収支計算書	2017年度			2018年度			2019年度			2020年度			2021年度		
	短大358名 高校1,183名 幼稚園958名 保育所95名			短大325名 高校1,060名 幼稚園990名 保育所101名			短大268名 高校890名 幼稚園999名 保育所100名			短大241名 高校744名 幼稚園984名 保育所95名			短大240名 高校700名 幼稚園942名 保育所100名		
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金収入	1,110,677	20.1%		1,021,964	17.2%		839,314	10.7%		679,686	11.6%		641,251	12.9%	
手数料収入	42,376	0.8%		37,902	0.6%		38,569	0.5%		42,995	0.7%		42,358	0.9%	
寄付金収入	10,019	0.2%		11,010	0.2%		43,732	0.6%		6,407	0.1%		17,379	0.3%	
補助金収入	1,115,203	20.2%		1,161,611	19.6%		1,220,909	15.5%		1,298,099	22.2%		1,312,807	26.4%	
資産運用収入	40,558	0.7%		43,383	0.7%		31,188	0.4%		24,651	0.4%		28,406	0.6%	
資産売却収入	673,049	12.2%		1,378,800	23.2%		1,854,048	23.5%		717,286	12.3%		300,050	6.0%	
事業収入	107,011	1.9%		105,873	1.8%		102,004	1.3%		84,315	1.4%		96,554	1.9%	
雑収入	44,786	0.8%		72,326	1.2%		156,118	2.0%		40,139	0.7%		122,225	2.5%	
借入金等収入	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
前受金収入	219,957	4.0%		172,999	2.9%		151,915	1.9%		161,699	2.8%		126,882	2.6%	
その他の収入	954,090	17.3%		673,054	11.3%		2,173,141	27.6%		1,347,844	23.1%		717,220	14.4%	
資金収入調整勘定	△ 297,230	-5.4%		△ 273,170	-4.6%		△ 322,042	-4.1%		△ 193,339	-3.3%		△ 270,969	-5.5%	
前年度繰越支払資金	1,510,409	27.3%		1,526,825	25.7%		1,587,980	20.2%		1,625,839	27.9%		1,834,727	36.9%	
資金収入合計	5,530,905	100.0%		5,932,576	100.0%		7,876,876	100.0%		5,835,619	100.0%		4,968,890	100.0%	
人件費	1,507,800	27.3%		1,528,416	25.8%		1,620,596	20.6%		1,439,807	24.7%		1,495,253	30.1%	
教育研究経費支出	453,186	8.2%		333,889	5.6%		342,034	4.3%		323,695	5.5%		403,029	8.1%	
管理経費支出	288,278	5.2%		269,053	4.5%		281,663	3.6%		298,342	5.1%		277,615	5.6%	
借入金等利息支出	1,891	0.0%		1,887	0.0%		1,812	0.0%		1,704	0.0%		1,596	0.0%	
借入金等返済支出	8,390	0.2%		8,330	0.1%		19,460	0.2%		19,440	0.3%		19,440	0.4%	
施設関係支出	416,056	7.5%		300,997	5.1%		28,855	0.4%		106,260	1.8%		11,633	0.2%	
設備関係支出	20,214	0.4%		20,963	0.4%		15,307	0.2%		13,575	0.2%		30,125	0.6%	
資産運用支出	990,984	17.9%		1,318,472	22.2%		1,976,189	25.1%		598,142	10.2%		582,895	11.7%	
その他の支出	411,481	7.4%		641,214	10.8%		2,137,961	27.1%		1,260,956	21.6%		554,899	11.2%	
資金支出調整勘定	△ 94,200	-1.7%		△ 78,625	-1.3%		△ 172,840	-2.2%		△ 61,030	-1.0%		△ 153,853	-3.1%	
次年度繰越支払資金	1,526,825	27.6%		1,587,980	26.8%		1,625,839	20.6%		1,834,727	31.4%		1,746,260	35.1%	
資金支出合計	5,530,905	100.0%		5,932,576	100.0%		7,876,876	100.0%		5,835,619	100.0%		4,968,890	100.0%	

過去5カ年の財務の推移表②

単位 千円

事業活動収支計算書	2017年度			2018年度			2019年度			2020年度			2021年度		
	短大358名 高校1,183名 幼稚園 958名 保育所95名			短大325名 高校1,060名 幼稚園 990名 保育所101名			短大268名 高校890名 幼稚園 999名 保育所100名			短大241名 高校744名 幼稚園984 名 保育所95名			短大240名 高校700名 幼稚園 942名 保育所100名		
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金	1,110,677	45.7%		1,021,964	42.4%		839,314	35.2%		679,686	31.6%		641,251	28.7%	
手数料	42,376	1.7%		37,902	1.6%		38,569	1.6%		42,995	2.0%		42,358	1.9%	
寄付金	10,019	0.4%		11,010	0.5%		43,732	1.8%		6,407	0.3%		17,379	0.8%	
補助金	1,114,041	45.9%		1,160,411	48.2%		1,215,351	50.9%		1,298,099	60.3%		1,312,807	58.8%	
事業収入	107,011	4.4%		105,873	4.4%		102,004	4.3%		84,315	3.9%		96,554	4.3%	
雑収入	44,786	1.8%		72,326	3.0%		147,618	6.2%		40,139	1.9%		122,225	5.5%	
教育活動収入計	2,428,909	100.0%		2,409,485	100.0%		2,386,587	100.0%		2,151,640	100.0%		2,232,574	100.0%	
人件費	1,499,273	61.7%		1,527,460	63.4%		1,620,774	67.9%		1,450,064	67.4%		1,499,583	67.2%	
(教育研究経費支出)	(382,550)	15.7%		(271,801)	11.3%		(276,469)	11.6%		(243,275)	11.3%		(342,860)	15.4%	
(奨学費支出)	(72,079)	3.0%		(63,531)	2.6%		(65,565)	2.7%		(80,420)	3.7%		(60,169)	2.7%	
(減価償却額)	(171,763)	7.1%		(181,918)	7.6%		(195,406)	8.2%		(197,646)	9.2%		(195,131)	8.7%	
教育研究経費 合計	626,392	25.8%		517,250	21.5%		537,440	22.5%		521,341	24.2%		598,160	26.8%	
(管理経費支出)	(288,278)	11.9%		(269,053)	11.2%		(281,123)	11.8%		(257,945)	12.0%		(277,200)	12.4%	
(減価償却額)	(18,159)	0.7%		(17,498)	0.7%		(19,009)	0.8%		(17,819)	0.8%		(17,852)	0.8%	
管理経費 合計	306,437	12.6%		286,551	11.9%		300,132	12.6%		275,764	12.8%		295,052	13.2%	
徴収不能引当金繰入額	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動支出計	2,432,103	100.1%		2,331,260	96.8%		2,458,345	103.0%		2,247,169	104.4%		2,392,795	107.2%	
教育活動収支差額	△3,194	-0.1%		78,225	3.2%		△71,758	-3.0%		△95,529	-4.4%		△160,221	-7.2%	
受取利息・配当金	40,558	1.7%		43,383	1.8%		31,188	1.3%		24,651	1.1%		28,406	1.3%	
その他の教育活動外収入	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動外収入計	40,558	1.7%		43,383	1.8%		31,188	1.3%		24,651	1.1%		28,406	1.3%	
借入金等利息	1,891	0.1%		1,887	0.1%		1,812	0.1%		1,704	0.1%		1,596	0.1%	
その他の教育活動外支出	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
教育活動外支出計	1,891	0.1%		1,887	0.1%		1,812	0.1%		1,704	0.1%		1,596	0.1%	
教育活動外収支差額	38,666	1.6%		41,495	1.7%		29,376	1.2%		22,947	1.1%		26,811	1.2%	
経常収支差額	35,473	1.5%		119,720	5.0%		△42,382	-1.8%		△72,582	-3.4%		△133,410	-6.0%	
資産売却差額	2,753	0.1%		4,196	0.2%		16,842	0.7%		10,713	0.5%		300	0.0%	
その他の特別収入	6,599	0.3%		3,288	0.1%		8,761	0.4%		1,353	0.1%		0	0.0%	
特別収入計	9,352	0.4%		7,483	0.3%		25,603	1.1%		12,066	0.6%		300	0.0%	
資産処分差額	648	0.0%		39	0.0%		29,635	1.2%		1,690	0.1%		141	0.0%	
その他の特別支出	0	0.0%		12,502	0.5%		605	0.0%		40,397	1.9%		415	0.0%	
特別支出計	648	0.0%		12,541	0.5%		30,240	1.3%		42,087	2.0%		556	0.0%	
特別収支差額	8,703	0.4%		△5,058	-0.2%		△4,637	-0.2%		△30,021	-1.4%		△256	0.0%	
基本金組入前当年度収支差額	44,176	1.8%		114,663	4.8%		△47,019	-2.0%		△102,602	-4.8%		△133,666	-6.0%	
基本金組入額合計	△479,420	-19.7%		△431,904	-17.9%		△148,959	-6.2%		△203,174	-9.4%		△121,456	-5.4%	
当年度収支差額	△435,245	-17.9%		△317,242	-13.2%		△195,979	-8.2%		△305,776	-14.2%		△255,123	-11.4%	
前年度繰越収支差額	527,784			92,950			△224,292			△420,270			△626,046		
基本金取崩額	0			0						100,000			20,000		
翌年度繰越収支差額	92,540			△224,292			△420,270			△626,046			△861,169		

※各比率は教育活動収入に対する比率。

令和4年5月19日

監 査 報 告 書

学校法人 湊川相野学園
理事長 浅 井 祐 子 殿

学校法人 湊川相野学園

監 事 下山 隆一郎

監 事 木 寅 文雄

私たちは、学校法人湊川相野学園の監事として、私立学校法第37条3項に基づく監査報告を行うため、学校法人湊川相野学園寄附行為第17条の規定に従い、令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）における計算書類（資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表並びに附属明細表）、学園の業務若しくは財産の状況、及び理事の業務執行の状況について監査を行いました。

私たちは監査を行うにあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは学校法人湊川相野学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、事業報告書、財産目録及び計算書類は会計諸帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人湊川相野学園の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認められました。

以上